

授業科目(ナンバリング)	地 誌 (CA215)			担当教員	※前田 竜孝		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ ラーニング の 類 型
<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然環境、人口等の概要について理解できる。 日本の地域的な多様性と共通点について理解を深められる。 各地の地理的な特色を論理的に説明できる。 図表や写真を使い、地理的事象を適切に説明できる。 							②
ホスピタリティ を構成する能力	学生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標			評価手段・ 方法		評価 比率	
専門力	(1)日本の自然環境、人口等の概要について理解できる (2)日本の地域的な多様性と共通点について理解を深められる。 (3)地誌学的な調査方法について理解を深められる。 (4)図表や写真を使い、地理的事象を適切に説明できる			(1)定期試験 (2)定期試験 (3)定期試験 (4)授業での取り組み		(1)10% (2)25% (3)15% (4)20%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	(5)地誌的考察方法を用いて、地域的特色、地域課題について自らの考えを述べるができる。 (6)誌的考察方法を用いて、自己と他者の地域理解の差異・共通点を見出すことができる。			(5)授業での取り組み (6)授業での取り組み		(5)20% (6)10%	
出 席				受験要件			
合 計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
(1)定期試験では、日本の自然環境、人口等の概要について理解できているかを評価する。 (2)定期試験では、日本の地域的な多様性と共通点について理解できているかを評価する。 (3)定期試験では、地誌学の調査方法について理解しているかを評価する。 (4)授業での取り組みでは、作業への取り組み度合から評価する。 (5)授業での取り組みでは、地域的特色、地域課題についての記述内容から評価する。 (6)授業での取り組みでは、自己と他者の地域理解の差異・共通点の理解をコメント内容などから評価する。 授業時に出された感想・コメントは、受講者自身の考えを相対化できるように、集計可能なものはその結果を提示する。また、適宜匿名で紹介し、担当教員よりコメントを加えることがある。							
授 業 の 概 要							
地誌とは、特定の地域の自然条件、社会経済的条件およびそれらと人間との関係から、総合的かつ科学的に地域の特徴を明らかにしたものである。本講義では、日本の国土・領域、自然環境、人口についての基礎的な内容を検討したのち、北海道、東北地方、関東地方、東海地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方それぞれの特色を絞ってみていく。特に、授業の後半では受講生の多くが居住している九州地方を重点的に扱う。各回を通じて、日本の地域的な多様性を理解するとともに、それぞれの地域の共通点もみいだしていく。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：特に指定しない。 参考書：授業時に紹介するので、詳細を知りたい場合や知識を深めたい場合は参照のこと。 指定図書：特に指定しない。							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
地誌学の見方・考え方を身につけて、自身の住む地域だけでなく、住んでいない地域の課題、地球的課題を見出す力を修得してほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス・地誌とはなにか	授業の進め方、評価の方法を説明したのち、地理学の教科書を総覧し地誌とは何かについて検討する。	復習：シラバスの再読、イントロダクションの配布資料からキーワードを抽出して記入。
2	日本の国土と領域	日本の面積、国土、領域について説明する。領域とはどのように画定されてきたのかを後半では考える。	復習：第1回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
3	日本の自然環境	日本の地形と気候について説明する。気候や地形にあわせた家屋の特徴などをあわせてみていく。	復習：第2回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
4	日本の人口	日本の人口の変化をみたのち、現在の人口の地域的な偏在とその問題点を検討する。	復習：第3回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
5	地誌作成の方法	既往の研究でおこなわれてきた地誌作成の方法や地域調査の方法を検討する。	復習：第4回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
6	北海道の地誌	北海道の水産業の特色について、ニシン漁業の歴史にフォーカスして不安定な産業と地域経済の関係を検討する。	復習：第5回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
7	東北地方の地誌	日本海側の北前船の航路と寄港地について検証し、海の交通の特有性について考える。	復習：第6回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
8	関東地方の地誌	関東地方の人口の増大と郊外化について、統計資料をもとに検討する。	復習：第7回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
9	東海地方の地誌	東海地方の主要産業である自動車産業と人口に与える影響について検討する。	復習：第8回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
10	近畿地方の地誌	山のニュータウンと海のニュータウン開発を振り返り、平野面積が限られる中での居住地開発について検討する。	復習：第9回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
11	中国・四国地方の地誌	瀬戸内海の暮らしと、産業について、工業と沿岸域開発に焦点を当て、空間利用のせめぎ合いを検討する。	復習：第10回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
12	九州地方の地誌 1	九州地方の自然環境と、農林水産業について統計資料を用いながら検討する。	復習：第11回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
13	九州地方の地誌 2	九州地方の工業について、製鉄業を中心に、地域的な特徴を検討する。	復習：第12回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
14	九州地方の地誌 3	九州地方のサービス業、特に観光業について、その地域的な特徴を検討する。	復習：第13回の配布資料からキーワードを抽出して記入。内容を他の受講生に説明する。
15	講義のまとめ	講義のまとめをおこなうとともに、後半では授業内レポートを作成してもらう。	復習：これまでの講義資料の整理、キーワード索引の作成。
16	定期試験		